

講義名	国文学		
科目区分	教養一般		
担当教員	上森 鉄也		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>「古事記」の上巻である日本神話を読むことにより、奈良時代の人々の思想や文化などを理解する。同じ日本の文学作品とはいえ、時代が異なれば人々の習慣や考え方も異なる。ひとつの作品を理解するためには、現代人の理論で考えるのではなく、それぞれの作品が成立した時代背景や思想習慣が異なることを知る必要があることを学ぶ。</p> <p>例えば、日本神話では、日本の国や神々はイザナキ・イザナミという二人の神が、ミトノマグハヒという行為によって生み出している。しかし、その際二人の神は「天御柱」の周りを廻っており、しかもイザナキは左からイザナミは右から廻っている。そして、まずイザナミが声をかけ、つぎにイザナキが声をかけており、結果として失敗する。この場合、なぜ「天御柱」の周りを廻る必要があるのか、イザナキは左からイザナミは右から廻るのか、なぜ失敗したのかなどが問題であり、その理由を考えようというのである。</p>			

到達目標			
<p>受講生が「古事記」の日本誕生神話とその背景となる古代日本人の習俗や考え方を理解し、説明できるようになる。そして、一見理解不能のように見える異文化の習慣や考え方にも筋の通った理屈があるのであって、自分たちと違う文化や考え方を簡単に拒否せず、理解しようとする姿勢を身につける。</p>			

提出課題			
<p>中間試験として、レポート試験を行う。</p>			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>解説及び講評を行う。</p>			

評価の基準			
<p>最終的な評価は、中間期のレポート試験（点数配分20%）及び期末試験（点数配分80%）の合計により行う。レポートは、800～1200字とする。期末試験は、講義内容を十分理解しているかどうかを問う問題を出題するが、教科書のみでは正解できないので、授業では必ずノートをとること。なお、レポート提出のみでは60点に満たないので、必ず期末試験を受けること。</p>			

履修にあたっての注意・助言他			
<p>奈良時代の文章である漢字のみの原文にふりがなを付けたものを教科書として用いる。</p>			

教科書			
・古事記	西宮一民	おうふう	1900円

プリント資料及び参考文献			
<p>授業では、教科書のみを使用し、プリント等は配布しない。</p>			

授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業内容と評価方法の説明</li> <li>2 奈良時代の文字と文章</li> <li>3 古事記の成り立ち</li> <li>4 天地の始まり</li> <li>5 イザナキとイザナミの国生み</li> <li>6 最初の結婚と失敗</li> <li>7 ミトノマグハヒの意味と背景</li> <li>8 日本列島の誕生と九州の由来</li> <li>9 生まれる島々の背景</li> <li>10 神々の誕生と神の数の違い</li> <li>11 イザナミの死と黄泉の国への訪問</li> <li>12 黄泉の国からの逃走とイザナミとの戦い</li> <li>13 穢れと禊ぎの意味</li> <li>14 アマテラスとスサノヲの誕生</li> <li>15 授業のまとめと試験の説明</li> </ol>			

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
<p>授業の最後に次回の授業の内容を予告するので、教科書等を読んだ上で、授業内容を復習し、疑問点がないかを確認すること。1時間程度。</p>	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
<p></p>	

実務経験の有無及び活用	
<p></p>	

備考	
<p></p>	